



BE\*BOY COMICS

# 君を抱締める両腕

この手

／みささぎ楓李

KIMI WO DAKISHIMERU KONOTE / FUHRI MISASAGI PRESENTS COMICS





KIMI WO DAKISHIMERU KONOTE

# 君を抱締める両腕



KIMI WO  
DAKISHIMERU  
KONOTE

⋮

FUHRI MISASAGI  
みささぎ楓李

3

この手  
君を抱締める両腕

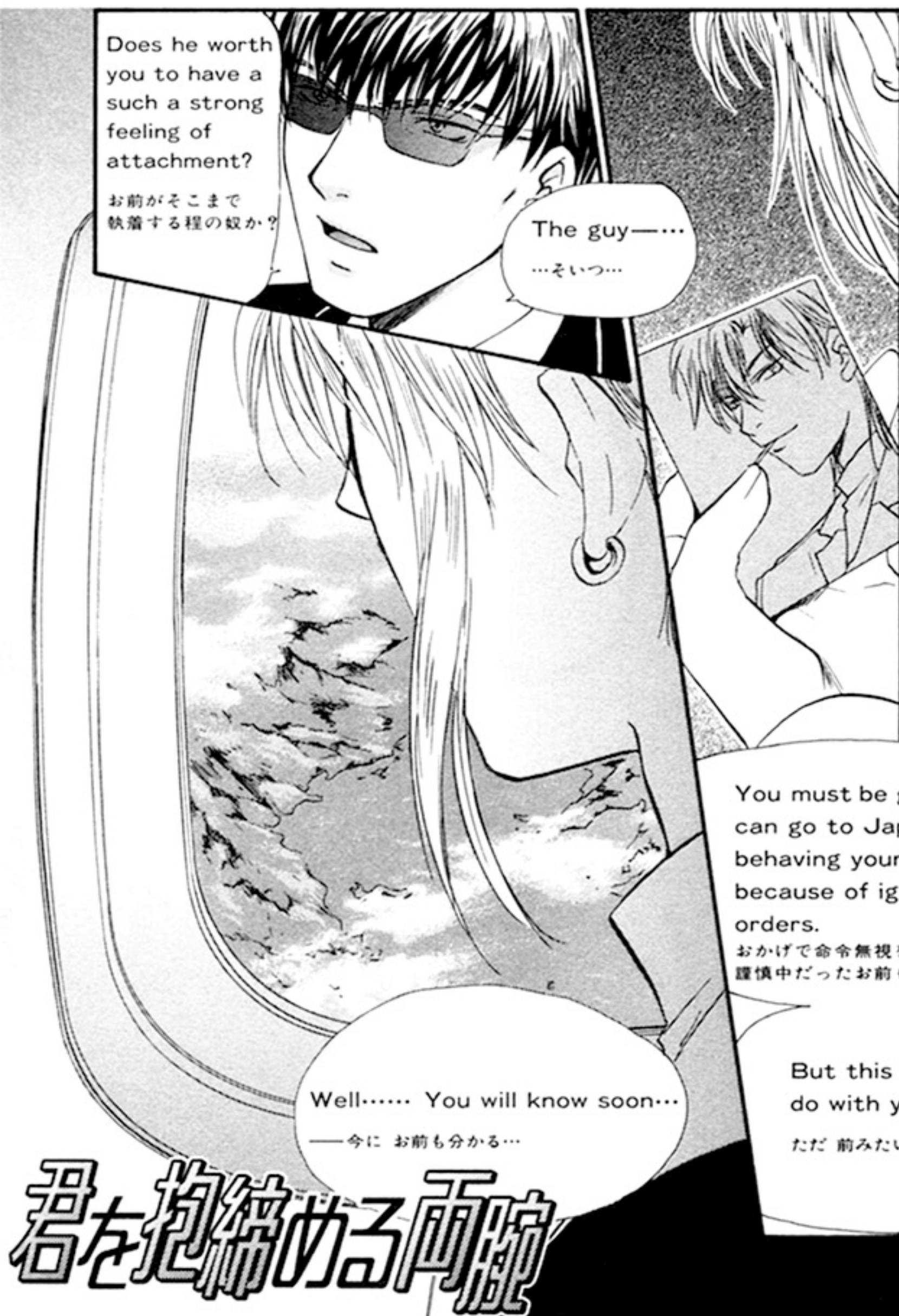
# CONTENTS



Is there any guardian?  
Only me?

付きそいはオレだけか?

What?  
何だ?



Does he worth  
you to have a  
such a strong  
feeling of  
attachment?

お前がそこまで  
執着する程の奴か?

The guy—....  
...そいつ...

I had no option  
but to take you.

お前しか残っていなかったん  
だから仕方ない

ブ  
キ  
キ  
キ  
キ

You must be glad that you  
can go to Japan, while  
behaving yourself  
because of ignoring  
orders.

おかげで命令無視をして  
謹慎中だったお前も日本に行けて嬉しいだろう


But this time, you must not  
do with your own way.

ただ 前みたいに勝手な事はするなよ

Well..... You will know soon...

—今に お前も分かる...

君を抱締める両腕



.....the reason why  
I'm so fascinated  
by Enya.

オレがこれ程までに艶夜に  
惚れ込んでいる訳が……

# ゆる西脚

この手



母を縛り締

きみ

だきし

ん...



ん？

ちい ちい



お早う  
艶夜君

よく眠れたかい？



よく  
眠れたぜ

それは  
良かった…



おかげで…

とふ？

ちよ…

体力気力精力共に  
充実しまくってるぜ…

ちよっと待って  
艶夜君つつ

後でいいだろ

早目に連絡を  
入れないと…その…

予定してない休みを  
取るのだから

こ…  
困る…よ

大学に休む事を  
連絡してこないと…

カ  
ッ  
ッ





……  
早く行ってこいよ

あ…

スイ…

ふー



私は彼を  
怒らせて  
しまったのか…？

え…  
艶夜…くん…



帰ったらすぐに  
続き…な

カー…ツ

し…続きして…

すっ…

すぐに戻るから…

ニヤ

ニヤ

ハッ

それにしても  
良かった…

機嫌を損ねた  
訳ではない様だ…

駄目だな…  
私は…

こんな情けない私に  
いつか艶夜君は奇立ち

すぐに人の…  
彼の顔色が  
気になってしまっ…

私の所から去るのでは  
ないかという不安が心にある…

ありがたい

艶夜君が何も  
言わない事を  
良い事に

自分では何も  
しない…

彼の寛大な心に  
縋るばかりで  
何もしようと  
しない…

私は…

浅ましい人間だ…



しまった…

ん…?

上着のポケットに  
財布を入れたままだ…



たしか  
セツの奴



今日の午前中には  
包帯を取るとか  
言っていたよな…

取つてこないよ…



誰だ!?



……



カシアス

よく分かったな

このオレに  
そんな事する奴は  
限られてんだよ

おれが敵対している  
組織の奴だつたら  
死んでるぞ

オレは一般市民  
なんだよ



だがオレが近づく事に  
気付かないのは  
ヤバイんじゃないのか？

これが敵対している  
組織の奴だつたら  
死んでるぞ

オレは一般市民  
なんだよ



……また来たのか……

お前なら  
出来る

オレが惚れ込んだ  
男だからな

またアメリカに  
来いって話か…

ああそうだ  
オレの側に来い

地位も金も  
名声も与えてやる

お前が  
欲しいんだ





す...

お前を愛して  
止まない

オレの気持ち

3年前から  
知っているだろう



お…落ち着け…

落ち着くんた…

「惚れ込んだ」



彼の言葉は  
あくまで彼だけの  
私見であり…

「お前が欲しい」

艶夜君の  
言葉ではないんだ…

「愛して止まない」



オレは…

お前と一緒に  
アメリカへ行く事も  
考えた…

このまま日本に  
居ても…

いつか耐え切れなく  
なる時が来るんじゃない  
かね…

それを考えると…

素直にお前の  
言葉を受けようかとな…

けど…

それは学生の頃の話だ

親父と敵対している組織がオレを狙い出したんだ

3年前のあの日…突然お前が大学から居なくならなければ今頃はアメリカに居ただろうけどな

残念ながら悠長に日本に居る事など出来なかった

だがその抗争も落ち着いた

だから今再びお前を誘いに来たんだ

…悪いな…

今は無理だ